

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	伊藤 恵美子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
卒業研究を執筆する専門演習 III・IV の前段階として、この授業では本を読むことを楽しみながら、本に親しむことを目的とします。演習授業では課題図書 of 輪読が一般的ですが、この授業ではビブリオバトルという形態により、ゼミ生と知識、ゼミ生とゼミ生をつなげます。紹介した本の内容は、最終的にレポートにまとめて提出します。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は演習方式で行います。 本を読む楽しさを味わいながら、読む経験を重ねていきます。 発表者が選んだ本によって未知の世界に関心を持つようになった自己の体験を踏まえて、専門演習発表大会でプレゼンテーションします。 紹介した本をレポートにまとめます。 無断欠席は認められないので留意すること。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	夏季休暇の報告、個人面談 (1)	<input type="checkbox"/>
第2回	2024年度後期計画	後期の学修と学生生活の計画、個人面談 (2)	<input type="checkbox"/>
第3回	本の選択 1	公立図書館で関心のある分野の新書の選択	<input type="checkbox"/>
第4回	ビブリオバトル1-A	Aグループのプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
第5回	ビブリオバトル1-B	Bグループのプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
第6回	本の選択 2	大型書店で卒業研究に向けて新書の選択	<input type="checkbox"/>
第7回	文献の読み方	要約と引用について	<input type="checkbox"/>
第8回	ビブリオバトル2-A	Aグループのプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
第9回	ビブリオバトル2-B	Bグループのプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
第10回	下書きレポートの提出	前期優秀レポートの分析から、レポートの下書きへ	<input type="checkbox"/>
第11回	添削されたレポートの修正	文法項目・効果的な表現の検討	<input type="checkbox"/>
第12回	専門演習発表大会の準備 (1)	専門演習発表大会で使用するスライド作成	<input type="checkbox"/>
第13回	専門演習発表大会の準備 (2)	専門演習発表大会のリハーサル	<input type="checkbox"/>
第14回	清書レポートの提出	レポートの推敲から、清書へ	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	1年間のまとめから、4年次の卒業研究へ	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
図書館で良い本を探して (2時間程度)、プレゼンテーションの準備を行うこと (2時間程度)。	

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)	
プレゼンテーションで紹介された本について、クラスで順位をつけるプロセスで、その内容を共有します。	

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	良い本に出合って、その過程で情報を多面的に判断できるようになる。 背景（価値観等）の異なる聴衆が理解・共感するプレゼンテーションができるようになる。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	プレゼンテーションを傾聴して、他者と協働できるようになる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業内試験：レポート（40）その他：発表に対するコメント（20）、聴衆による発表の順位（20）、専門演習発表大会等への貢献度（20）				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	近藤裕子・由井恭子・春日美穂（2019）『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』ひつじ書房	978-4-89476-970-0
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム：アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版会	
2		
3		
4		
5		